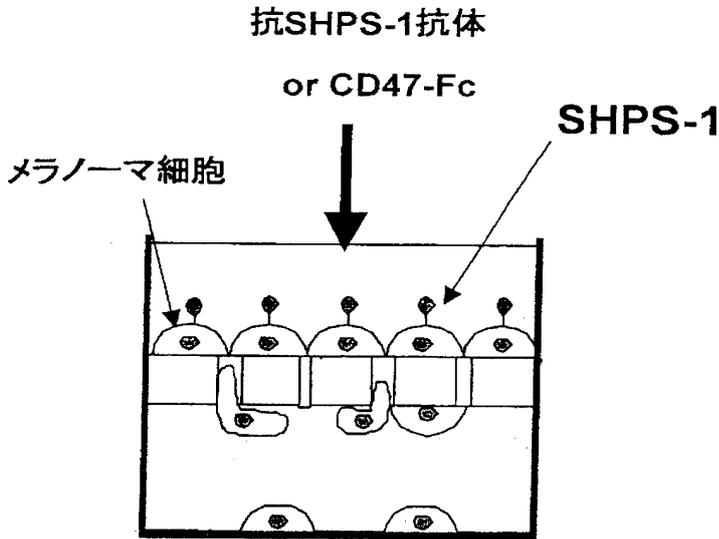
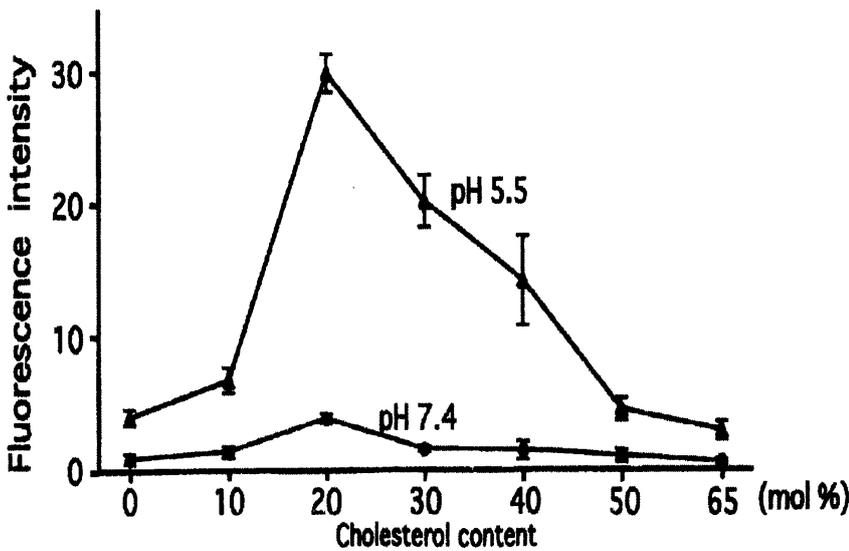


発明の名称	CD47 部分ペプチドと抗 SHPS-1 モノクローナル抗体 (特許第 3936673 号 欧州特許 EP1637598)	
学内発明者	的崎 尚(元生体調節研究所) 岡澤 秀樹(元生体調節研究所)	
技術分野	医薬・バイオ	IP18-030,-EP
発明の概要	SHPS-1 を介した細胞応答の機能に作用させることのできる CD47 部分ペプチドと抗 SHPS-1 モノクローナル抗体を提供する。	
説明図	 <p>メラノーマ細胞に発現している SHPS-1 に CD47 タンパク質および/または抗 SHPS-1 モノクローナル抗体を添加する様子を例示した模式図。</p>	
ポイント	CD47 タンパク質の免疫グロブリン様構造を有する細胞外領域を構成するアミノ酸配列を有し、SH2ドメイン含有タンパク質の脱リン酸化基質タンパク質 SHPS-1 の N 端免疫グロブリン様構造と特異的に結合する CD47 部分ペプチド。	

発明の名称	コレステロール含有膜のコレステロール含量の測定方法(特許第 4403278 号)																									
学内発明者	竹内 利行(元群馬大学) 穂坂 正博(元生体調節研究所)																									
技術分野	コレステロール測定	IP17-078																								
発明の概要	新規な生体膜コレステロール含量の測定方法を提供する。 アクリジンオレンジ又は DAMP の膜透過性を利用して生体膜のコレステロール含量を測定する。																									
説明図	 <p>各コレステロール濃度の膜に対するアクリジンオレンジの透過性を示す図。</p> <table border="1"> <caption>Fluorescence intensity vs. Cholesterol content</caption> <thead> <tr> <th>Cholesterol content (mol %)</th> <th>Fluorescence intensity (pH 5.5)</th> <th>Fluorescence intensity (pH 7.4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>~4</td> <td>~1</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>~7</td> <td>~1.5</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>~30</td> <td>~4</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>~20</td> <td>~2</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>~14</td> <td>~2</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>~5</td> <td>~1.5</td> </tr> <tr> <td>65</td> <td>~3</td> <td>~1</td> </tr> </tbody> </table>		Cholesterol content (mol %)	Fluorescence intensity (pH 5.5)	Fluorescence intensity (pH 7.4)	0	~4	~1	10	~7	~1.5	20	~30	~4	30	~20	~2	40	~14	~2	50	~5	~1.5	65	~3	~1
Cholesterol content (mol %)	Fluorescence intensity (pH 5.5)	Fluorescence intensity (pH 7.4)																								
0	~4	~1																								
10	~7	~1.5																								
20	~30	~4																								
30	~20	~2																								
40	~14	~2																								
50	~5	~1.5																								
65	~3	~1																								
ポイント	本発明によれば、細胞内小器官の生体膜などのコレステロール含有膜のコレステロール含量を簡便に測定することができる。																									